2026 年 10 月 20 日

2020 年より継続するパートナーシップを通じて気候変動対応への発信強化

「Paysafe Envision Formula E Team」への支援契約を更新

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：内川 哲茂）は、電気自動車（EV）のフォーミュラカーレース「ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権（以下、フォーミュラ E）」に参戦する英国の「Paysafe Envision Formula E Team（以下、Paysafe Envision）」とのパートナー契約を更新しました。帝人グループは 2020 年から同チームを支援しており、今回の契約更新を通じて、気候変動やサーキュラーエコノミーなどの社会課題に対し、パートナーとの共創を通じた取り組みをさらに推進していきます。

【帝人株式会社 代表取締役社長執行役員 CEO　内川 哲茂】

電動モータースポーツが新たな時代を迎える中、Paysafe Envision とのパートナーシップを継続できることをうれしく思います。イノベーションと「healthy planet」の実現という共通の志のもと、それぞれの強みを生かした共創により新たな価値を生み出し、より持続可能な社会への変化を加速していきたいと考えています。

【Paysafe Envision Formula E Team　CEO 兼取締役会会長　Franz Jung】

先端素材の専門性と持続可能性への強いコミットメントを持つ帝人は、私たちにとって理想的なパートナーです。サーキットの内外で、パフォーマンス、持続可能性、循環性を共に追求していきます。

フォーミュラ E は、2026／27 年シーズンに新型車両「GEN4」を導入します。GEN4 は、最高時速 335km、最大出力 600kW、常時四輪駆動を実現。主要部品に 20%以上の再生材料を使用し、車両全体をリサイクルまたは再利用できる設計とするなど、性能と持続可能性を両立しています。また、フォーミュラ E は、世界のスポーツで初めて BSI（英国規格協会）の「ネット・ゼロ・パスウェイ」認証を、モータースポーツシリーズとして初めて B Corp 認証(*)を取得しています。

(*) B Corp 認証：米国の非営利団体 B Lab による国際認証。社会の公正・環境への配慮などさまざまな面に基づいた活動を実施し、高い評価を得た企業だけに与えられる

Paysafe Envision は、ミッションである「Race Against Climate Change™」の下、グリーンテクノロジーへの移行を促進し、持続可能な未来の実現を目指しています。また、モータースポーツを通じて、ファンや企業、政府機関などに気候変動への行動を呼びかけています。2026/27 シーズンは、実績豊富な Maximilian Günther と、将来を期待される Zak O’Sullivan をドライバーとして迎え、世界中のフォーミュラ E ファンに向けて、そのメッセージを発信します。

帝人グループと Paysafe Envision は、これまで日本やオランダなどで「Race Against Climate Change Live Events」を共同開催し、気候変動やサーキュラーエコノミーへの理解促進と、企業、行政、学術機関の枠を越えた共創に取り組んできました。

また、同チームのレーシングスーツには当社のメタ系アラミド繊維「コーネックス・ネオ」が、世界初の 2 人乗り EV レーシングカーの車体には炭素繊維「テナックス」が採用されています。

「テナックス」を使用した
世界初の 2 人乗りレーシングカー

「コーネックス・ネオ」を
使用したレーシングスーツ

帝人グループは今後も、Paysafe Envision とのパートナーシップを通じて、社会や環境の課題解決につながる価値を共に創出し、パーパス「Pioneering solutions together for a healthy planet」の実現に貢献していきます。

以　上

【 報道関係のお問合せ先 】
帝人株式会社　コーポレートコミュニケーション部　TEL：(03)3506-4055